

2022年1月14日

各位

会社名 オムニ・プラス・システム・リミテッド  
(OMNI-PLUS SYSTEM LIMITED)  
代表者名 最高経営責任者 (Chief Executive Officer)  
ネオ・プアイ・ケオン (Neo Puay Keong)  
(コード番号: 7699 東証マザーズ)  
問合せ先 株式会社 OMNI-PLUS SYSTEM Japan  
代表取締役社長 重田 直行  
(03-6890-3023)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年6月29日に公表いたしました2022年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上収益	売上総利益	税引前利益	当期利益	基本的1株 当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	千米ドル (千円) 355,155 (40,849,932)	千米ドル (千円) 37,948 (4,364,727)	千米ドル (千円) 20,079 (2,309,472)	千米ドル (千円) 17,352 (1,995,798)	米ドル (円 銭) 0.83 (95.47)
今回修正予想 (B)	317,000 (36,461,340)	34,000 (3,919,680)	19,000 (2,185,380)	16,500 (1,897,830)	0.78 (89.72)
増減額 (B-A)	△38,155 (△4,388,588)	△3,948 (△454,099)	△1,079 (△124,107)	△852 (△97,997)	
増減率 (%)	△10.7	△10.4	△5.4	△4.9	
(ご参考) 前期連結実績	249,589 (28,707,732)	28,109 (3,233,137)	13,716 (1,577,626)	11,716 (1,347,578)	0.58 (66.71)

(注1) 当社業績予想は米ドルで行っております。本書において円に表示している金額は、便宜上、2021年12月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値に基づき1米ドル=115.02円で換算された金額であります。

(注2) 当社は、個別での財務諸表を作成しておりませんので、連結業績予想のみを開示しております。

## 2. 修正の理由

以下2点の影響による売上収益の減収を見込んでおりますが、コスト管理の厳格化により税引前利益及び当期利益への影響は軽微と見込んでおります。

### (1) マレーシアで発生した洪水による影響

マレーシアでは、昨年12月中旬に発生しました豪雨による洪水の影響により、当社グループの製品の配送に物流上の問題が発生しており、これが現在に至るまで影響が出ております。

なお、ご参考までに、このマレーシアの洪水に関する報道が日本貿易振興機構（ジェトロ）のホームページに掲載されております。

日本貿易振興機構（ジェトロ）

ビジネス短信：「マレー半島（マレーシア）の洪水被害、日系企業の操業にも深刻な影響」

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/12/2d29419303ab1706.html>

### (2) 新型コロナウイルス感染症によるマレーシアの労働力不足による影響

マレーシアでは、マレーシア政府が新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置として、外国人労働者の新規受入規制を行っております。その結果、2021年11月中旬以降、当社グループ製品の供給先である委託製造業者の多くが、労働力不足に直面しており、計画した生産量に達することができない状況になっております。これにより当社の受注に影響が出ております。

2021年11月12日に開示いたしました2022年3月期第2四半期決算短信発表時点におきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明ではあるものの、急激に悪化することはないとの予測を立て、また、既存顧客からの受注の増加も持続していたことから、第3四半期以降は、売上収益及び各利益は着実に改善すると見込んでおりました。

しかしながら、第2四半期決算短信発表後に、マレーシア政府の新型コロナウイルス感染症拡大防止措置と洪水による影響が生じたことから、本日、業績予想の下方修正をすることといたしました。

なお、今回の修正予想値につきましては、少なくとも2022年3月期中は、新型コロナウイルス感染症による影響が続くと仮定しており、その影響をある程度加味しております。しかしながら、コロナ禍におきましても既存顧客からの受注は順調であり、またコスト削減等の効果により、売上収益及び各利益とも前期実績を上回る見通しです。（対前期比 売上収益：+27.0%、売上総利益：+20.9%、税引前利益：+38.5%、当期利益：+40.8%）

※本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上